

今後の図書館スケジュール（令和 4 年 1 月現在）《資料 1-1》の説明

<p>【社会教育課】 基本構想</p>	<p>文化複合施設整備事業の凍結に伴い、当該事業再開と新図書館基本構想の策定を考慮し、現図書館基本構想の実施スケジュールを 1 年間追加し、施策に取り組んでまいります。</p>
<p>【社会教育課】 文化複合施設</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、税収の大幅な落ち込みも予想される中、財政的余裕を確保していく必要があったため、令和 2 年 10 月、一旦凍結となりました。</p> <p>令和 4 年の秋頃の再開をめざしたいと考えていますが、前回ご報告させていただいた内容以降、具体的な事業再開については現時点においても決まっておりません。今後の歳入環境の状況等によっては事業再開のスケジュールが変更される可能性もあります。再開される場合は速やかに協議会へご報告いたします。</p>
<p>【社会教育課】 移動図書館</p>	<p>ウメ号・キキョウ号は共に購入後 20 年以上経過しており、故障も頻発し、それに伴う部品供給もままならない状況となっております。移動図書館のあり方については今後も引き続き検討し、それと並行して、各ステーションの利用状況の調査や後述のリージョンセンターとの連携を進めてまいります。</p>
<p>【図書館】 リージョンセンター 等の活用</p>	<p>・出張図書館</p> <p>11 月 19 日に布施駅前市民プラザにおいて、11 月 26 日に楠根市民プラザにおいて出張図書館を行いました。（今後は布施駅前市民プラザ：毎月第 1・3 金曜日、楠根市民プラザ：毎月第 2・4 金曜日に 14：00～16：00 まで実施）</p> <p>この両市民プラザでの実績と課題を基に、今後移動図書館のあり方の検討と併せて、他の市民プラザにもサービスを拡充していけるよう検討してまいります。</p> <p>・リサイクル図書</p> <p>今年度も市立図書館の除籍資料をリサイクル図書としてリージョンセンターへの譲渡を実施してまいります。</p>
<p>【図書館】 ひがしおおさか 電子図書館</p>	<p>【利用状況（12 月末現在）】</p> <p>貸出総数 155,518 冊（うち、学校連携によるもの 127,850 冊）となっており、8 割近くが小中学校に配付されたタブレット端末による電子図書館の学校連携の中での利用となっています。</p> <p>【書籍】</p> <p>11 月に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金にて児童書を中心に約 4,000 タイトルを追加購入し、全体の所蔵</p>

	<p>数約 39,000 タイトルとなりました。</p> <p>【周知の拡大】 新たに公立幼稚園等の在園児保護者に対してリーフレットの配付を行いました。また、併せて電子図書館のポスター掲示も依頼しました。</p>
<p>【図書館】 学校図書支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回学校司書連絡会（8/31）において、学校司書から提出されたリクエストに基づき、第3回学校司書連絡会（12/16）は、本の修理講座と図書館見学を行いました。 ・1月・2月に「調べる学習講座」の出前授業を加納小学校3年生、4年生向けに実施予定です。 ・学校園向けリサイクル図書譲渡会を2月下旬に実施予定です。 ・12月末までの団体貸出の状況は23校（延べ121回）約5,000冊となっています。
<p>【学校教育推進室】 学校司書連絡会</p>	<p>【学校図書館司書：募集定員19名の配置完了】 今年度よりスタートした学校図書館司書連絡会では、市立図書館も参加しながら、意見交換や情報共有を行っています。</p> <p>◆第1回7月9日開催 （案件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告「学校図書館を充実さ・活用するためのモデル校2020年度実践報告」（西堤小教諭） ・講話「学校図書館に求められている3つ機能を果たしていくために、市立図書館ができること」（市立永和図書館長） <p>※本市として、学校司書の配置も初めてなら、学校司書連絡会も初めての実施でしたが、主催の市教育委員会が予想していた以上に学校司書にとって有意義な連絡会となりました。</p> <p>その理由として、学校司書同士の意見交換や情報共有を学校司書が渴望していたことが挙げられます。学校内に、一人しかいない職種であるため、相談するにも相談相手を探すのが難しい状況があるようです。</p> <p>その解決策の一つとして、学校教育推進室から学校園間フォルダを活用して、情報交換することを進めています。</p> <p>結果、掲示物等の写真データをフォルダに入れていることを確認しています。</p> <p>◆第2回8月31日開催 （案件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立図書館と学校との合同研修 ・学校図書館授業活用計画一覧について ・学校間交流

・その他「市立図書館へのリクエスト」用紙配付・回収
※第1回と同様に、この学校司書連絡会を学校司書は、大変待ち望んでいました。

研修後、公立図書館と学校との合同研修「読書のバリアフリーのための支援資料について～「わいわい文庫（マルチメディア DAISY 図書）の愛称）」の紹介～」を、学校司書より教員へ情報共有され、伊藤忠記念財団から入手した学校がありました。このことから、学校司書と教員との連携が進みつつあることがうかがえます。

また、市立図書館へのリクエストの中に「本の修理の仕方」や「団体貸出の運搬について」等があり、その中の一つを第3回の学校司書連絡会で取り上げることとなりました。

以下、学校司書の感想

「・今日は学校司書連絡会で久しぶりに他学校の司書の方々とお会いできて元気をいただきました。図書館授業活用計画も各学校の先生方のお陰で何とかでき、2学期の掲示物もオリンピック特集でようやく仕上がりそうです。色々な資料を使わせていただきありがとうございました。何か役に立ちそうな資料があれば自分も提供できるようにがんばりたいと思います。

・学校司書連絡会は貴重な機会で、他の先生方と貴重な意見・情報交換が出来たので満足だった。」

◆第3回12月16日開催

(案件)

- ・本の修理講座
- ・図書館見学（花園図書館）
- ・学校間交流
- ・その他

※第2回の際に、学校司書が市立図書館にリクエストした「本の修理講座」もあり、学校司書にとって大変有意義なものになりました。今後は、学校司書自身が本の修理や装備等を実際にする機会を検討してまいります。また、花園図書館の書庫や掲示物、書架を見学することで知見を広げることができました。

以下、学校司書の感想

「・修理や装備は、人それぞれのやり方もあると思いますので、今後の修理作業等の参考にさせていただこうと思います。表記等の工夫は、やはり公共図書館の力を感じました。いただけるのであれば、表記（書籍間に挟み込む見出しポップ）は各学校にほしいです。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館でも、分類が大事なので、NDC 分類について学べてよかったです。図書館にも、住所があると探したい本がすぐ分かるので、ある程度学年が上がると生徒にも、図書の授業の中で教えて行きたいです。各学年のオリエンテーションで、学年に応じた内容で学校図書館の事も加えていきます。 ・新聞は現在の社会情勢や時事問題などを知ることが出来、(テレビニュースだけでは補いきれない情報も得ることが出来ると思う) 小学校から読む習慣を身に付けておくことはとても大切だと思う。図書室に新聞を置いたり、文章構成の勉強も兼ねて新聞づくりの取り組みなども先生方と話し合っ取り入れたいと思う。」 <p>◆第4回3月2日花園図書館にて開催予定</p>
<p>【社会教育課】 第2次東大阪市子ども読書活動推進計画</p>	<p>令和2年度分の実施について、6月に事業調査・集計をおこないました。調査結果については、第1回図書館協議会にて報告済みです。</p> <p>今後も本計画に基づき子どもたちの読書環境の充実に努めてまいります。</p>